

令和 8 年度 年間授業計画 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科: 外国語 科目: 英語コミュニケーションⅡ 単位数: 3 単位

対象学年組: 第 2 学年

教科担当者:	深津 香奈子	下山 宣子	本田 智也	三木 香花	石黒 健	富澤 隆
使用教科書:	教科書: Crossroads English Communication II (大修館) 副教材: Crossroads ワークブック・アドバンスト (大修館)、TIME ZONES Thrid Edition (National Geographic Learning)					

教科 外国語 の目標:

【知識及び技能】	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、英語で概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図を尊重し、これらを活用して適切に表現したり伝えたりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	英語の背景にある文化に対する理解を深め、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使ってコミュニケーションを図る態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
聞くこと、読むこと、話すこと(やり取り、発表)、書くことを通して、多くの支援を活用しながら、科学技術者の育成を目指して、目的や場面、状況などに応じて適切に英語を通してコミュニケーションできる技能を身につける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、多くの支援を活用しながら、科学技術者に必要な英語力すなわち、英語で概要や要点や詳細をとらえ、話し手や書き手の意図を理解し、適切に表現したり伝えたりする力を養う。	多くの支援を活用して、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使って、科学技術者としてコミュニケーションを図る態度を育てる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話(や)	話(発)	書					
単元 1 A Practical Approach 【知識及び技能】 分詞構文、不定詞の意味上の主語、動名詞の意味上の主語を理解、活用し、国際協力について環境問題について即興で伝えあう技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力】 中村哲医師の高齢を通して、適切な支援のあり方について理解し考えを深め、国際協力について科学技術者の育成の観点から、意見を交換することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、積極的に取り組む態度を養う。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 【国際協力】 受動態・不定詞・完了形 ・教材 教科書、副教材等 ・一人1台端末の活用(場面) 課題の提示・提出、リソースの調査	○	○	○	○	○	○	○	○	13	
	次観の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 ①分詞構文、不定詞の意味上の主語、動名詞の意味上の主語を理解している。②基本的な語句や文を用いて即興で伝えあう技能を身につけている。 【思考力・判断力・表現力】 支援を必要としている人々に対する適切な支援のあり方について理解したことを基に、国際支援をする団体について調べ、意見を伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、積極的に取り組んでいる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6
	定期考査(第1学期中間考査)/返却と解説							○	○		2
	単元 2 Achieving Sustainability 【知識及び技能】 付帯状況、助動詞+have+過去分詞を理解、活用し、環境問題について即興で伝えあう技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力】 衣服の消費や食品ロスについて理解したことを基に、環境問題について、科学技術者の育成に必要な考えを発信する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、積極的に取り組む態度を養う。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 【環境問題】 関係代名詞・分詞の後置修飾 ・教材 教科書、副教材等 ・一人1台端末の活用(場面) 課題の提示・提出、リソースの調査、PowerPoint発表	○	○	○	○	○	○	○	○	13
		次観の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 ①付帯状況、助動詞+have+過去分詞を用いた文の構造を理解している。②基本的な語句や文を用いて即興で伝えあう技能を身につけている。 【思考力・判断力・表現力】 衣服の消費や食品ロスについて理解したことを基に、地球環境にやさしい生活様式について調べ、意見を伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、積極的に取り組んでいる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
定期考査(第1学期期末考査)/返却と解説								○	○		2
単元 3 Living with Animals 【知識及び技能】 関係副詞の非制限用法、無生物主語構文、倒置を理解・活用し、動物との関わりについて即興で伝えあう技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力】 動物の権利について考えを深め、動物園の役割について調べ、科学技術者の育成に必要な考えを発信する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、積極的に取り組む態度を養う。		指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 【動物との関り】 itの用法・仮定法過去 ・教材 教科書、副教材等 ・一人1台端末の活用(場面) 課題の提示・提出、リソースの調査、PP発表	○	○	○	○	○	○	○	○	13
		次観の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 ①関係副詞の非制限用法、無生物主語構文、倒置を用いた文の構造を理解している。②基本的な語句や文を用いて即興で伝えあう技能を身につけている。 【思考力・判断力・表現力】 動物の権利について理解したことを基に、動物園の役割について調べ、意見を伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、積極的に取り組んでいる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	定期考査(第1学期期末考査)/返却と解説							○	○		2

令和 8 年度 年間授業計画 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科: 外国語 科目: 英語コミュニケーションⅡ 単位数: 3 単位

対象学年組: 第 2 学年

教科担当者:	深津 香奈子	下山 宣子	本田 智也	三木 香花	石黒 健	富澤 隆
使用教科書:	教科書: Crossroads English Communication II (大修館) 副教材: Crossroads ワークブック・アドバンスト (大修館)、TIME ZONES Thrid Edition (National Geographic Learning)					

教科 外国語 の目標:

【知識及び技能】	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、英語で概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図を尊重し、これらを活用して適切に表現したり伝えたりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	英語の背景にある文化に対する理解を深め、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使ってコミュニケーションを図る態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
聞くこと、読むこと、話すこと(やり取り、発表)、書くことを通して、多くの支援を活用しながら、科学技術者の育成を目指して、目的や場面、状況などに応じて適切に英語を通してコミュニケーションできる技能を身につける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、多くの支援を活用しながら、科学技術者に必要な英語力すなわち、英語で概要や要点や詳細をとらえ、話し手や書き手の意図を理解し、適切に表現したり伝えたりする力を養う。	多くの支援を活用して、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使って、科学技術者としてコミュニケーションを図る態度を育てる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 (や)	話 (発)	書					
単元 6 Making Choices	指導項目に対し、次の教材等を活用する。										
【知識及び技能】	・指導事項										
独立不定詞、完了形の不定詞・動名詞、関係代名詞と前置詞の表現を理解・活用し、行動心理学について考えを即興で伝えよう技能を身につける。	【行動心理学】 関係代名詞のさまざまな用法										
【思考力、判断力、表現力】	・教材										
人間の行動に影響を及ぼす事柄について理解し考えを深め、人間の意思決定に影響を及ぼす要因について調べ、科学技術者の育成に必要な考えを発信する力を養う。	教科書、副教材等	○	○	○	○	○					6
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)										
上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、積極的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出、リソースの調査、PP発表										
単元 7 The Culture of Fireworks	指導項目に対し、次の教材等を活用する。										
【知識及び技能】	・指導事項										
比較級を使つたいろいろな表現、未来完了形、要求・提案・必要・重要などを表すthat節を理解・活用し、花火の文化的な背景について考えを即興で伝えよう技能を身につける。	【戦争・平和】 助動詞+完了形・仮定法過去完了										
【思考力、判断力、表現力】	・教材										
花火の文化的な背景について理解し考えを深め、異なる人々を結びつける文化の力について調べ、科学技術者の育成に必要な考えを発信する力を養う。	教科書、副教材等	○	○	○	○	○					13
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)										
上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、積極的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出、リソースの調査、PP発表										
3 学 期	指導項目に対し、次の教材等を活用する。										
【知識及び技能】	・指導事項										
【思考力、判断力、表現力】	・教材										
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)										
単元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。										
【知識及び技能】	・指導事項										
【思考力、判断力、表現力】	・教材										
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)										
定期考査(学年末考査)/返却と解説								○	○		2